

小学部合同遊びの指導学習指導案

日 時 平成20年10月14日(火) 3・4校時
午前10:45～11:45

指導者 T1 T2 T3 T4 T5 T6
T7 T8

場 所 多目的室, 体育館

1 題材名 のぼって、ひっばって、ころがして、おさるの森であそぼう

2 題材の目標

- (1) 自らの働きかけによって素材の感触や変化を楽しんで遊ぶことができる。
- (2) 教師や友達の誘いに応じたり遊び方を見てまねたりして教師や友達とかかわりをもつことができる。
- (3) 教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができる。
- (4) 遊んだ場所をきれいにしようという気持ちをもったり、友達と一緒に片付けに取り組んだりすることができる。

3 児童と題材

1年生3名, 2年生4名, 3年生1名, 4年生1名, 5年生2名, 6年生1名の計12名の学習集団である。遊びにおいては, 教師と一緒に感触遊びを楽しむ児童から学級の友達同士でかかわりを楽しむ児童まで実態は様々である。普段の学習活動において, この学習集団で一緒に活動することは少ないが, 繰り返し合同遊びに取り組むことで, 相手を意識したりお互いを受け入れたりすることができるようになってきた。また, 10名程度の集団でじっくり遊ぶことが初めての1年生から, 様々な友達と少しずつかかわりをもって長年遊んできた6年生まで, 合同遊びの経験に差がある。

これまでの「アンパンマンランドで遊ぼう～乗り物遊び」や「元気に身体を動かそう～水遊び」では, 好きな遊びを見つかったり教師や友達と貸し借りしたりしながら遊びを行った。学級の先生や友達とは, 緊張をゆるめ声を出しながら遊んだり学級の友達を誘ったりすることができるようになってきた。また, 高学年の遊び方を見て低学年がまねをしたり高学年の児童が教師の支援を受けながら低学年の児童を誘ったりする姿も見られるようになってきた。しかし, 個々の児童の遊びやコミュニケーションの発達に幅があること, 集団での遊びの経験が乏しいことなどから自信がなかったり分からなかったりして受け身的なかかわりになることが多く見られた。個別の指導計画からも, 好きな遊びを見つけてじっくり遊ぶことや人とのかかわりの幅を広げることが共通の課題として上げられる。

本題材では, 段ボールや紙を用い, さるの森をテーマに山・家・林・池の4コーナーに遊びを分けて設定した。これらの場所での遊びを通して以下の姿を期待する。

- ・全身を使って遊びを楽しむさるの山では, 登ったり滑ったりする方向や順番などのルールを守りながら遊ぶことができる。
- ・ごっこ遊びや光遊びをするさるの家では, 「おおかみをやって下さい」等の言葉を自分から話したり, 児童が教師とおおかみ役と逃げる役などを交代したりしながら遊ぶことができる。また, 家の外の賑やかな雰囲気とは異なり, 優しい音楽が流れるゆったりとした空間で高まった気持ちを落ち着けたり, 暗く光を感じる空間では教師と一対一でゆっくりとかかわりを楽しんだりすることができる。
- ・岩のボールやハンマーで丸太を崩して遊ぶさるの林では, 積み重ねる役と崩す役が必要になることで, 「お願い」「もう一回」等の言葉や身振りで気持ちを伝えたり, 友達や教師とのかかわりをもったりすることができる。
- ・風船や紙の感触で遊ぶさるの池では, ゆっくりとした雰囲気の中で紙吹雪を見たり紙の上に寝ころんだりして感触を味わい気持ちを解放することができる。

4つのコーナーに遊びを分けたことで, 児童が色々な遊びを経験し, その中から自分で気に入った遊びを見つかったり, 同じコーナーに集まった者同士で遊ぶことで友達の遊びを自分からまねしたりするなどの姿を引き出すことができる。児童がこのような遊びを繰り返すことで, 人とのかかわり方を知り生活の中で様々な人と仲良く活動する・相手に思いを伝える・新しい環境に早く慣れるなど生活する力を高めることにつながると考えられる。

指導にあたっては以下の点に留意する。

- ・教師が毎時間各コーナーでの遊びを一つ紹介し、児童の遊びのきっかけ作りをしながら、興味や関心の持続や遊びの発展ができるようにする。そして、遊びの後半にみんなで同じ遊びをする時間を設定し、大勢で遊ぶことの楽しさを感じることができるようにしたい。

<各コーナーの遊びの場について>

- ・児童のやってみたいという意欲や期待感を高め、何度も遊びたいとすることができるように、これまでの合同遊びや休み時間の遊びで興味関心の高かった物を変化させて加えたり、高さのある滑り台を頭から滑る遊び方や長さのある丸太を準備し積み上げて崩す遊び方など迫力のある遊び方を提示したりする。
- ・山を登ったり丸太を崩したりして身体を思い切り動かして遊ぶことができるような遊びの場と光や紙などの感触を楽しんで遊ぶ場を提示し、児童の実態や課題に合わせて感触遊び、粗大遊び、ごっこ遊びができるようにする。

<児童のやりとりを促す支援について>

- ・教師は誘い方や受け方、遊び方などやりとりのモデルを積極的に示すことで、児童がやりとりの仕方を知り、そこから児童と教師や児童同士のかかわり・共同で行う遊び・順番のある遊びを促すようにしたい。
- ・(D) (I) へは、いろいろな素材を触ったり見たりする活動を中心に、教師との一対一のかかわりを大事にしつつ他の教師や児童とのやりとりを仲立ちすることによって、周りとのかかわりを広げていけるようにしたい。

以上のような支援を行うことで、自分からやってみたい、何回もやりたいという気持ちを児童から引き出し、楽しい遊びの中で友達とのかかわりを経験できるようにしたい。さらに、さるの森の中の遊具はこれまでの遊びのように完成したものではなく、児童自身が遊びの中で変化させたり教師と一緒に作ったりする部分を残し、遊び込むたびに発展できるようにしたい。

4 指導計画（総時数14時間）

「のぼって、ひっばって、ころがして、おさるの森であそぼう」

主な学習内容	ねらい	時数
①おさるの森に行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・おさるの森の遊具を知り、気に入ったコーナーで遊ぶことができる。 ・教師や友達からの誘いに応じたり遊びの順番を守ったりすることができる。 ・教師からの誘いを受け入れることができる。 ・自分が片付けるコーナーを知り、教師と一緒に取り組むことができる。 	4時間
②おさるの森で友達と遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の誘いを受けて素材の感触を味わったり、気に入ったコーナーを見つけて素材の感触や変化を感じて繰り返し遊ぶことができる。 ・言葉や身振り等で「かして」や「いいよ」と伝えたり、遊び方をまねたりすることができる。 ・教師とのやりとりを楽しんだり、誘いを受け入れたりすることができる。 ・音楽を聞いたり教師の呼びかけを受けたりして、遊んだ物を自分から運んだり集めたりすることができる。 	6時間 (本時3~4/6)
③またね！おさるの森	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から身体を動かし素材の感触や変化を楽しんで遊んだり、教師の誘いを受けて素材の感触を味わったりすることができる。 ・同じコーナーに集まった友達と、順番を守ったり役割を交替したりしてかかわることができる。 ・教師とのやりとりを楽しんだり、誘いを受け入れたりすることができる。 ・音楽を聞いたり教師の呼びかけを受けたりして、遊んだ物を自分から運んだり集めたりすることができる。 	4時間

5 児童の様子および題材の目標

氏名 学年・性別	様子	題材の目標
A (1・男)	ブランコや自転車などスピードのある遊びを好み、自分から準備をしたり教師の手をとったりするなどして遊びたいことを伝えることができる。トランポリンや順番のある遊びは苦手である。また、自分の遊びに友達が入ってくることを嫌がるが、繰り返すことで少しずつ同じ遊びができるようになってきた。	<ul style="list-style-type: none"> 気に入ったコーナーを見つけて繰り返し遊んだり、教師の誘いを受けて新しい遊び方で遊んだりすることができる。 教師に「お願い。」や「もう一回。」と話をしたり、教師や友達と同じコーナーで遊びを楽しんだりすることができる。 教師の誘いを受けて、丸太を運んだり紙を集めたりすることができる。
B (1・男)	ままごと遊びや崩したりする遊びを好み、時間いっぱい遊ぶことができる。遊びにのってくると、自分から話しをすることが多くなる。経験のない遊びに誘ってもなかなか取り組むことは難しいが、遊んでいる教師や友達の様子に興味深そうに見ていることが多い。	<ul style="list-style-type: none"> 積んだり、崩したり、滑ったりしながら、段ボールの変化や感触を感じて遊ぶことができる。 お願いしたいことを伝えたり、順番のある遊びがあることを知ったりしながら、教師や友達と同じ遊具で遊ぶことができる。 「たくさん遊んだね。」「また遊ぼうね。」という気持ちを大切にしながら、友達と一緒に遊んだものの片付けに取り組むことができる。
C (1・男)	ボールやトランポリンでの遊びを好み誘われると楽しむことができる。自分から遊びたい場所へ移動したり遊具を手にしたことは難しいが、自分から友達が楽しく遊んでいる様子を興味深そうに見ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 気に入ったコーナーを見つけて教師や友達と同じ場所で遊ぶことができる。 好きな遊びを繰り返す中で「お願い。」や「もう一回。」のしぐさや身振りをすることができる。 さる人形やバナナを引っ張ったり、集めたりして教師や友達と遊ぶことができる。
D (2・男)	様々なものの感触に慣れ、楽しむことができる。興味をもった物に対しては、人差し指で自分から探り、ひっかく・つつく・握る・握ったまま腕を動かすなどの活動ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 風船、紙、段ボールで作られた遊具の感触を楽しみ、自分から手を伸ばして触ったり、動きを楽しんだりすることができる。 教師や友達からの働きかけを受け入れることができる。
E (2・女)	シーツブランコや乗り物遊びを好み、繰り返し遊ぶことができる。乗り物遊びでは、友達が引いてくれるカートに乗り、みんなに手を振りながら楽しむことができる。友達とかかわって遊ぶことは少ないが、45分程度全体と同じ場所で活動することができるようになってきた。	<ul style="list-style-type: none"> 好きなコーナーで教師や友達と一緒に遊ぶことができる。 貸してほしい場面で「お願い。」の身振りで相手に伝えることができる。 片付けをしている教師や友達の様子に気づき、教師と反対側の丸太を持って運ぶことができる。
F (2・男)	ごっこ遊びを好み、「鬼の役をやってください。」などと自分から教師を誘って遊ぶことができる。いろいろな物に興味関心があるため、後片付けをせずに次々と遊びを変えることが多い。	<ul style="list-style-type: none"> 気に入ったコーナーを見つけて楽しんで遊ぶことができる。 教師や友達と一緒に遊具の貸し借りをしたり、見立て遊びをしたりすることができる。 片付けをしている周りの様子に気づき、自分で丸太を持って運ぶことができる。

G (2・男)	トランポリンやブランコ、乗り物遊びを好み、自分の好きな遊具を選んで遊ぶことができる。教師の手を引いて「遊具を取ってほしい。」などの要求を指差しや「お願い。」と言葉で示すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・気に入ったコーナーを見つけ、積み木倒しや滑り台で身体を思いきり動かして遊ぶことができる。 ・教師にやってほしいことなどを「お願い。」と言って自分の要求を伝えて好きな遊びを続けることができる。 ・教師の誘いに応じて、一人で積み木を持ち一緒に片付けることができる。
H (3・女)	折り紙や紙を裂くなど紙遊びを好む。乗り物遊びでは、教師や友達とかかわりをもって活動できる。途中でその場からいなくなるのが少なくなり、最後まで参加できるようになってきた。	<ul style="list-style-type: none"> ・滑り台で、登ったり滑ったりする方向や順番等のルールを守り、楽しく遊ぶことができる。 ・教師と一緒にブロックを積んだり倒したりすることができる。 ・教師の促しで、遊具を持って箱の中に入れることができる。
I (4・女)	シーツブランコやキャスターに乗って遊ぶことや、砂や水の感触を楽しむことを好む。周囲の友達の様子をじっと見たり、声のする方向に耳を傾けたりして様子を伺っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の膝の上に乗って滑り台を滑り、滑り降りる感覚やスピードを楽しむことができる。 ・家の中で教師の隣に横になり、電飾の点滅を見たり室内の装飾を触ったりしてリラックスして楽しむことができる。
J (5・男)	水遊びやボールスライダー遊びを好む。友達に遊び道具を貸してあげたり、遊びに誘ったりすることができる。友達の言葉や動作をまねして楽しむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・滑り台や丸太倒しで繰り返し遊ぶことができる。 ・教師や友達と同じ役でおおかみごっこをしたり、自分から教師におおかみの役をお願いしたりして楽しんで遊ぶことができる。 ・自分から気付いて最後まで紙を集めることができる。
K (5・男)	乗り物遊びや水遊びを好む。学級担任や学級の友達には積極的に話しかけて遊ぶことができるが、好きな遊びに夢中になると、周囲からの誘いに応じることが難しくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ・紙を教師や友達からかけてもらったり自分からかけたりして、紙の感触を楽しんで遊ぶことができる。 ・教師や友達と遊具の貸し借りをすることができる。 ・教師の促しに応じて、きれいになるまで紙を集めることができる。
L (6・男)	激しい遊びよりもゆっくりとした遊びを好む。好きな友達の側に行ったり、言葉や動作をまねしたりして遊ぶ。友達に誘われて一緒に遊びを楽しむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンマーやボールを使って、丸太を倒して繰り返し遊ぶことができる。 ・教師や友達からのお願いに応じて、紙吹雪をかけてあげることができる。 ・自分から進んで遊具を運んだり、紙を集めたりすることができる。

6 本時の計画（総時数 7～8 / 14 時間）

(1) 本時の目標

- ・教師の誘いを受けて素材の感触を味わったり、気に入ったコーナーを見つけて素材の感触や変化を感じて繰り返し遊ぶことができる。
- ・言葉や身振りなどで「貸して。」や「いいよ。」と伝えたり、遊び方をまねたりすることができる。
- ・教師とのやりとりを楽しんだり、誘いを受け入れたりすることができる。

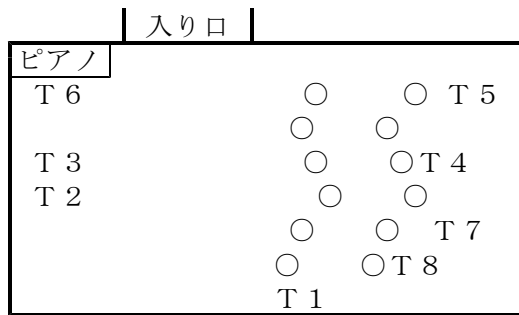
(2) 個別の目標と評価

※波線は、教師が遊んでほしいコーナーの遊具や素材。

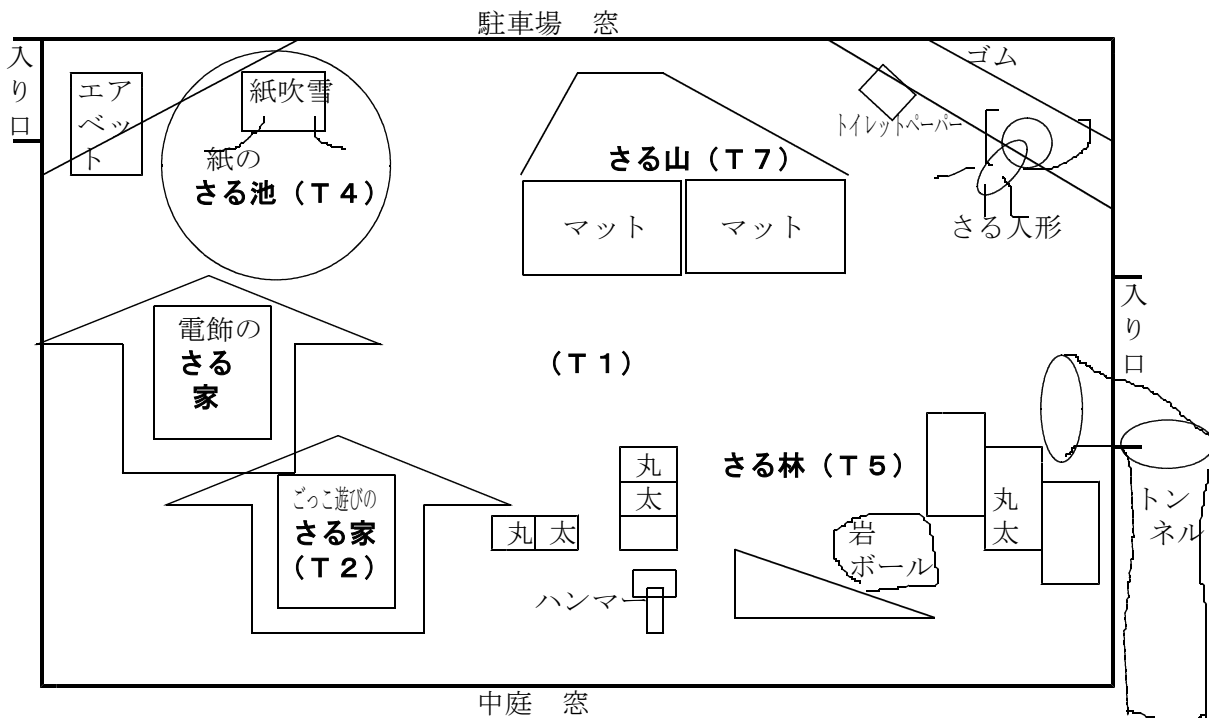
氏名 学年・性別	目標	評価
A (1・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・滑り台や丸太倒しで、順番を守って繰り返し遊ぶことができる。 ・滑り台や丸太倒しで、背中を押してほしいときや丸太を積み上げてほしいときに、「お願い。」と話することができる。 	
B (1・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と交替しながら滑り台で遊ぶことができる。 ・丸太を積んでほしいときに、近くにいる教師にお願いをして積んでもらうことができる。 	
C (1・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の言葉掛けで順番を意識し、滑り台で友達と繰り返し遊ぶことができる。 ・教師や友達からの誘いに応じてサル人形やバナナを引っ張ったり落としたりして遊ぶ。繰り返し遊ぶときに「もう一回。」「お願い。」のしぐさや身振りができる。 	
D (2・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>風船、紙、段ボール</u>で作られた新しい遊具の感触や動きに慣れることができる。 ・教師から受ける働きかけを楽しむことができる。 	
E (2・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師とさる家に入っておおかみから逃げて遊んだり、丸太を倒して遊んだりすることができる ・貸してほしい場面で教師と一緒に「お願い。」と身振りで相手に伝えることができる。 	
F (2・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・さる家で教師や友達と役を決めておおかみごっこで遊ぶことができる。 ・遊具を貸してほしいときに依頼したり、順番を守ったりして遊ぶことができる。 	
G (2・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・丸太が倒れるスリル感や滑り台から滑り降りるスピード感を楽しみながら、身体を思いきり動かして遊ぶことができる。 ・丸太を積んでほしいときや背中を押してほしいときなどに「お願い」と言って教師に依頼したり、順番を守りながら遊んだりすることができる。 	
H (3・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>滑り台</u>を滑って繰り返し楽しむことができる。 ・教師の促しに応じて「ください」のサインをしながら「貸して」と言って、<u>ハンマー</u>を借りることができる。 	
I (4・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・滑り台を滑り降りる感覚を楽しむことができる。 ・さる家に入り、電飾の点滅を見て楽しむことができる。 	

J (5・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>さる山</u>に登って遊ぶことができる。 ・教師の促しに応じておおかみの役を行い、友達と楽しく遊ぶことができる。 	
K (5・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・丸太を積み上げて、繰り返し遊ぶことができる。 ・教師や友達からのお願いに応じて、丸太を積み上げることができる。 	
L (6・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の誘いに応じて、<u>さる山</u>を登り繰り返し遊ぶことができる。 ・<u>さる家</u>でのおおかみごっこで、教師や友達のまねをしながら役を決めて遊ぶことができる。 	

(3) 配置図1 (多目的室) ○児童 T教師



配置図2 (体育館)



(4) 学習過程

時間	学習内容	教師の働きかけ・留意点				準備物
		B	G	L		
10	※多目的室に集合する。	・多目的室で裸足になり中央に座ることができるように、言葉掛けや支援をする。				
	1 はじまりの歌を歌う。 「アイアイ」	・これから始まる遊びに期待感がもてるよう、曲に合わせてさるに変装したT1・T2・T3が登場し一緒に踊ってさるの森へ誘う。				・ピアノ ・さるのシッポ
25	2 本時について話を聞く。 ①今日の遊びの紹介を聞く。 ②遊ぶときのルールを確認する。 ・なかよく遊ぶ ・「かして下さい」と話をする。	・遊びたいという気持ちを盛り上げたり遊び方を知ったりすることができるように、おさるのボス(T2)が児童とやり取りをしながらさる林コーナーを紹介する。				・ハンマー ・丸太 ・ボール
	3 おさるの森で遊ぶ。	<p>・カラートンネルを楽しくスムーズにくぐるができるように、T1とT4がトンネルを押さえ四つんばいが上手な児童から促したり、一緒にくぐったりする。</p> <p>・車いすに乗っている児童もトンネルの雰囲気が味わえるように、ジャングルに見立てたスズランテープのカーテンを準備する。</p> <p>・すぐに遊び始めることができるように、道具や場の安全を確認して遊び場を整えておく。</p> <p>・教師と児童、児童同士がかかわりをもてるように、仲立ちとなったり一緒に誘ったりする。</p> <p>・言葉を引き出すことができるように、問いかけたり話し方を伝えたりする。</p> <p>・(F)(L)友達を誘うことができるように、「一緒に遊ぼう。」など話し方を伝える。</p> <p>・(D)T3, (I)T8, 教師から受ける働きかけを楽しみながら遊ぶことができるように、言葉掛けにより状況を伝え、楽な姿勢で遊びに取り組めるようにする。</p> <p>・(E)T6, (H)各コーナーに行き様々な遊び方を知りながら楽しむことができるように、遊んでいる友達の様子や本児が気に入っている遊具を示したり教師が遊び方を演示したりする。</p>				・車付きかご2 ・ひも
<p>・さる山で遊ぶ。(T7)</p> <p>・さる家で遊ぶ。(T2)</p> <p>・さる林で遊ぶ。(T5)</p> <p>・さる池で遊ぶ。(T4)</p>		<p>・順番を意識できるように「今は〇〇さんの番だね。」「次は健人さんの番だよ。」などと言葉を掛ける。</p> <p>・さる家に慣れることができるように、繰り返し遊びに行ってみるよう誘ったり一緒に入ったりする。</p> <p>・丸太を積んでほしい時に自分から伝えられるように、教師が「お願いします。」と依頼している様子を見せ、一緒に言う経験を繰り返す。</p> <p>・紙の中に飛び込んだり、紙を散らせたりして楽しむことができるように、さる池での遊びに誘いかける。</p>	<p>・「お願い。」「もう一回。」などの言葉を引き出すことができるように、一緒に滑ったり背中を押したりする。また、順番を意識できるように、「〇〇さんの番だよ。」「待っててね。」と伝える。</p> <p>・さる家に入ることができるように、ドアを開けて音楽や光があることを伝えたり、おおかみになって追いかけて遊ぶしながら誘ったりする。</p> <p>・丸太を倒したいという気持ちを高めることができるように、高く積んで呼びかける。</p> <p>・紙の感触を味わうことができるように、「気持ちいいね。」「きれいだね。」と言葉を添えながら、一緒に寝ころんだり上から紙吹雪をかけたりする。</p>	<p>・自分で山を登ることができるように、足をかける場所を伝えたり、少し背中を押したりする。また、友達と仲良く遊ぶことができるように、順番を伝えたり「どうぞ。」などの話し方や身振りを伝える。</p> <p>・興味をもっておおかみごっこで遊ぶことができるように、始めは教師が楽しい雰囲気で遊んでいる様子を演示しその後誘って一緒に遊ぶ。上手にできたら称賛する。</p> <p>・友達と一緒に丸太を積み重ねたり倒したりして遊ぶことができるように、「丸太を積んでくれる人。」「お願い。」などと声を掛けて誘ったり、役割を伝えたりする。</p> <p>・友達に紙吹雪をかけて一緒に楽しむことができるように、「一緒にやってみよう。」と声を掛けて誘う。</p>	<p>山</p> <p>・安全に滑り台を楽しむことができるように、順番やルールを伝える。</p> <p>・(A) 何度も滑り台で遊ぶと気持ちももてるように、教師が背中を押してスピードを出し遊びを盛り上げる。</p> <p>・さるの人形で遊ぶことができるように、教師が誘ったり遊び方を演示したりする。</p> <p>・(D)(I) さるの動きを感じることができるように、鈴や腰飾りを付けたりひっぱる紐を付けたりする。</p> <p>・(C) 言葉で要求できるように、「もう一回ですか。」「バナナを掛けますか。」とやさしく問い掛ける。</p> <p>家</p> <p>・リラックスできる家とごっこ遊びをする家を準備する。</p> <p>・リラックスの家では、リラックスをして光を楽しむことができるように音楽を流したり、照明を暗くしたりする。</p> <p>・ごっこ遊びの家では、家の中と外とのやり取りができるように窓をつけたり、家の中に仕掛けを作ったりする。</p> <p>・(I) 暗さと明るさの変化に注目することができるように電飾の下で仰向けになったり、飾りに注目できるように飾りを揺らしたりする。</p> <p>・(J) 楽しみながらおおかみ役を演じることができるように、始めは一緒に遊んでからおおかみ役に誘う。教師と一緒に窓を叩いたり、大きな声を出したりする。</p> <p>林</p> <p>・自分から丸太を豪快に倒して楽しむことができるように、教師が丸太を高く積む。</p> <p>・繰り返し丸太を積んで遊ぶことができるように、一緒に丸太を積み誘う。</p> <p>・(D)(I) 丸太の感触を楽しむことができるように、柔らかい布で丸太を覆ったり、丸太の上に乗っても安全なように強度を増すようにする。</p> <p>・(K) 友達と一緒に遊んでいるという楽しい雰囲気を感じるできるように、教師や友達と一緒にかけ声をかけたり丸太が倒れたときにはハイタッチをしたりする。</p> <p>池</p> <p>・紙の感触を楽しむことができるように、一緒に触ったり紙の音を聞いたりする。</p> <p>・全身で感触を感じることができるように、寝転んだとき身体の下に敷く紙の量を調節したり紙を児童の身体にかけたりする。</p>	<p>・山</p> <p>・さる人形</p> <p>・バナナ</p> <p>・電飾家</p> <p>・CD</p> <p>・CDデッキ</p> <p>・ごっこ家</p> <p>・丸太</p> <p>・ハンマー</p> <p>・発射台</p> <p>・エアベット</p> <p>・紙の池</p> <p>・紙吹雪</p> <p>・ブルーシート</p> <p>・石</p>

15	4	みんなで遊ぶ。 ・スペシャルタイム ～パラシュート	<ul style="list-style-type: none"> みんなで同じ遊びを楽しむことができるように、T1が中央に集まるよう誘う。 風を感じたり紙吹雪が舞う様子を見たりして楽しむことができるように、パラシュートの下に寝転んだり座ったりするよう支援する。 (A)(B)(G)(H)真ん中に入れるように早めに誘ったり、一緒に寝転んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パラシュート ・紙吹雪 ・CD ・CDデッキ ・袋2 							
	5	おさるの森をきれいにする。	<ul style="list-style-type: none"> 終わりの時間ということが分かるようにT1が音楽を流し、T2が森をきれいにしようと呼びかける。 片付ける場所が分かるように、T1がクラスごとに呼びかけ、各コーナーでT2・T5が片付ける物を具体的に伝える。 								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当</th> <th>片付ける物</th> <th>移動の準備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3・5・6年生 T2, T1</td> <td>さる池～紙を集めて袋に入れる。</td> <td>(D) T3</td> </tr> <tr> <td>1・2年生 T5, T4, T6, T7</td> <td>さる林～丸太を体育館の壁際(赤いテープの中)に片付ける。</td> <td>(I) T8</td> </tr> </tbody> </table>				担当	片付ける物	移動の準備	3・5・6年生 T2, T1	さる池～紙を集めて袋に入れる。	(D) T3	1・2年生 T5, T4, T6, T7
担当	片付ける物	移動の準備									
3・5・6年生 T2, T1	さる池～紙を集めて袋に入れる。	(D) T3									
1・2年生 T5, T4, T6, T7	さる林～丸太を体育館の壁際(赤いテープの中)に片付ける。	(I) T8									
10	～多目的室に移動～	<ul style="list-style-type: none"> また遊びたいという気持ちをもつことができるように、移動しながら児童が遊んだ遊びや友達と遊んで楽しかったことについて話をする。 身支度を整え、教室へ移動することができるように、言葉掛けや支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車付きかご2 ・ひも 								

(5) 評価の観点

- (児童側)・教師の誘いを受けて紙や光などの感触を味わったり、気に入ったコーナーを見つけて滑り台を滑り降りるスピード感や高く積み上げた丸太を崩すスリル感などを感じて遊んだりすることができたか。
- ・もう一度やりたい気持ちや交替してほしい気持ちなどを教師や友達に伝えたり、おおかみになった教師や友達とやり取りをする遊び方などまねたりして教師や友達とかかわりをもつことができたか。
 - ・(D)(I)が段ボールで作った丸太に乗ることや滑り台を滑ることなどの教師の誘いを受け入れて発声や笑顔を見せたり、担当の教師や各コーナーにいる教師の言葉掛けやふれあいを楽しんだりすることができたか。
- (教師側)・教師の誘いを受けて経験の少ない遊びや役割のある遊びをしたり、自分から真っ先に遊びに行きたいコーナーや繰り返し遊びたいコーナーを見つけて素材の感触や変化のおもしろさを感じて遊んだりするためのコーナーや遊具の選定は適切であったか。
- ・丸太を積んでほしいことや滑り台で背中を押してほしいことなどを「お願い。」と言葉や身振りで表現したり、友達や教師の話すおおかみの台詞や動きをまねたりして、かかわりをもつための言葉掛けや環境設定は適切であったか。
 - ・(D)(I)が教師の誘いを受け入れて遊ぶための遊具の選定や、やり取りを楽しむための話しかけやふれあいの仕方が適切であったか。